

日時：令和3年9月22日（水）17：00～
場所：三田市役所2号庁舎2階2201会議室

第5次三田市農業基本計画策定懇話会 第1回分科会A 次第

1 開会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 協議事項

(1) 第4次農業基本計画の取り組みの振り返りについて

(2) 意見交換

5 閉会

(配布資料)

資料1 第4次三田市農業基本計画の振り返り方法について

資料2 第4次三田市農業基本計画施策振り返りメモ

資料3 第4次三田市農業基本計画の取り組みについて

資料4 第4次三田市農業基本計画に基づく各事業について

分科会Aの委員名簿

第4次三田市農業基本計画の振り返り方法について

1 評価について

第4次三田市農業基本計画の主な取り組みと成果、主な課題について、各事業の施策ごとに評価を実施します。

2 進行について

- ・分科会については3回開催し、概ね1時間程度とします。
- ・第1回及び第2回会議は第4次三田市農業基本計画の振り返りを行い、第3回会議で審議内容を取りまとめます。

■進行手順

① 施策及び内部評価の概要説明【市】

- ・「資料3 第4次三田市農業基本計画の取り組み」、「資料4 第4次三田市農業基本計画に基づく各事業」について説明します。

② 質疑応答

- ・委員は、「資料2 振り返りメモ」をもとに質問を行います。
- ・審議時間が限られるため、質問・回答とも具体的かつ簡潔に発言してください。

③ 振り返りメモの提出

- ・振り返りメモは、第4次三田市農業基本計画の各項目について、「気がついたこと」や「今後取り組めばいいと思われること」をご記入することにご活用ください。
- ・振り返りメモは、皆様の意見として事務局として取りまとめますので、ご記入できた委員の方は、第2回分科会までに提出いただければ幸いです。

3 意見の取りまとめについて

- ・事務局は、審議内容及び委員から提出された「資料2 振り返りメモ」の意見を集約します。
- ・第3回会議で、分科会全体の意見を確認し、分科会意見（成果や課題等への意見）を決定します。少数意見でも原則として併載の取り扱いとします。
- ・座長は、「今後の取組みの方向性に関する分科会の意見」を集約し、懇話会において発表していただきます。

4 評価基準について

評価基準は次の3つの視点で評価します。

●農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか

- ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。
- ・欠けている手段や発想はなかったか。

●主な取り組みと成果は適切か

- ・見逃されている成果はないか。
- ・取組みは適切か。

●主な課題は適切か

- ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。

第4次農業基本計画施策振り返りメモ（分科会A）

戦略1：三田の農業の将来を支える担い手の確保と育成	項目	(1)新規就農者の就農促進・定着	施策の方向性	1)新規就農者の支援
---------------------------	----	------------------	--------	------------

項目	気がついたこと
<p>①農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。 ・欠けている手段や発想はなかったか。 	
<p>②主な取組みと成果は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている成果はないか。 ・取組みは適切か。 	
<p>③主な課題は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。 	
今後取組みめばいいと思われること	

氏名

※分科会の際には、氏名は公表いたしません。

第4次農業基本計画施策振り返りメモ（分科会A）

戦略1：三田の農業の将来を支える担い手の確保と育成	項目	(1)新規就農者の就農促進・定着	施策の方向性	2) 研修受け入れ農家の支援
---------------------------	----	------------------	--------	----------------

項目	気がついたこと
①農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか <ul style="list-style-type: none"> ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。 ・欠けている手段や発想はなかったか。 	
②主な取組みと成果は適切か <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている成果はないか。 ・取組みは適切か。 	
③主な課題は適切か <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。 	
今後取組みたいと思われること	

氏名

※分科会の際には、氏名は公表いたしません。

第4次農業基本計画施策振り返りメモ（分科会A）

戦略1：三田の農業の将来を支える担い手の確保と育成	項目	(2)農業経営者の育成	施策の方向性	1)農業者の経営力向上
---------------------------	----	-------------	--------	-------------

項目	気がついたこと
①農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか <ul style="list-style-type: none"> ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。 ・欠けている手段や発想はなかったか。 	
②主な取組みと成果は適切か <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている成果はないか。 ・取組みは適切か。 	
③主な課題は適切か <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。 	
今後取組みたいと思われること	

氏名

※分科会の際には、氏名は公表いたしません。

第4次農業基本計画施策振り返りメモ（分科会A）

戦略1：三田の農業の将来を支える担い手の確保と育成	項目	(2)農業経営者の育成	施策の方向性	2) 農地の生産性向上
---------------------------	----	-------------	--------	-------------

項目	気がついたこと
<p>①農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。 ・欠けている手段や発想はなかったか。 	
<p>②主な取組みと成果は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている成果はないか。 ・取組みは適切か。 	
<p>③主な課題は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。 	
今後取組みたいと思われること	

氏名

※分科会の際には、氏名は公表いたしません。

第4次農業基本計画施策振り返りメモ（分科会A）

戦略4：地産地消と食育の充実	項目	(3)農と福祉との連携促進	施策の方向性	1)福祉分野での農業の活用
----------------	----	---------------	--------	---------------

項目	気がついたこと
①農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか <ul style="list-style-type: none"> ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。 ・欠けている手段や発想はなかったか。 	
②主な取組みと成果は適切か <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている成果はないか。 ・取組みは適切か。 	
③主な課題は適切か <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。 	
今後取組みたいと思われること	

氏名

※分科会の際には、氏名は公表いたしません。

第4次農業基本計画施策振り返りメモ（分科会A）

戦略5：営農体制の強化と集落の維持・保全	項目	(1)集落連携型営農体制の構築	施策の方向性	1)集落営農の立ち上げ・活性化
----------------------	----	-----------------	--------	-----------------

項目	気がついたこと
<p>①農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。 ・欠けている手段や発想はなかったか。 	
<p>②主な取組みと成果は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている成果はないか。 ・取組みは適切か。 	
<p>③主な課題は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。 	
今後取組みたいと思われること	

氏名

※分科会の際には、氏名は公表いたしません。

第4次農業基本計画施策振り返りメモ（分科会A）

戦略5：営農体制の強化と集落の維持・保全	項目	(1)集落連携型営農体制の構築	施策の方向性	2)地域農業の将来像づくり
----------------------	----	-----------------	--------	---------------

項目	気がついたこと
<p>①農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。 ・欠けている手段や発想はなかったか。 	
<p>②主な取組みと成果は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている成果はないか。 ・取組みは適切か。 	
<p>③主な課題は適切か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。 	
今後取組みたいと思われること	

氏名

※分科会の際には、氏名は公表いたしません。

第4次農業基本計画施策振り返りメモ（分科会A）

戦略5：営農体制の強化と集落の維持・保全	項目	(3)農業生産基盤の維持	施策の方向性	1)農地維持、農業用施設等の整備
----------------------	----	--------------	--------	------------------

項目	気がついたこと
①農業基本計画の実現に向けて適切な方法がとられてきたか <ul style="list-style-type: none"> ・第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要は最適か。 ・欠けている手段や発想はなかったか。 	
②主な取組みと成果は適切か <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている成果はないか。 ・取組みは適切か。 	
③主な課題は適切か <ul style="list-style-type: none"> ・見逃されている、過小評価されている課題はないか。 	
今後取組みたいと思われること	

氏名

※分科会の際には、氏名は公表いたしません。

分科会 A テーマ：農村の再生と活性化

① 取り組みの成果と課題

戦略	項目	施策の方向性	第4次三田市農業基本計画に掲げている取組の概要	主な取り組みと成果	主な課題
戦略1：三田の農業の将来を支える担い手の確保と育成	(1)新規就農者の就農促進・定着 (2)農業経営者の育成	1)新規就農者の支援 2)研修受け入れ農家の支援	・新規就農者の研修視察づくり、就農希望者の相談窓口の強化、農地や住居のあっせん支援、短期就業体験など円滑に就農できる環境整備を行う。 また、就農後の経営安定化のため、経営指導等の取組みを推進する。 ・研修・指導を行う親方農家と新規就農希望者とのマッチング、親方農家への支援、地域に就農者が溶け込めるサポート体制づくりを進める。	・農業改良普及センターやJA等と連携し、就農希望者へのアドバイザーや農地のあっせん等の様々な支援を行った結果、H28年度からR2年度までの間に、認定新規就農者は7名→17名に増加した。 ・H30年度より市独自施策として認定新規就農者に営農開始時の初期投資(最大500千円)を補助し、認定新規就農者のうち16名(7,747千円)が制度を活用した。 ・就農希望者への丁寧な相談対応のほか、研修生を受け入れられる親方農家制度を設けて、市内で円滑に営農を開始できる環境整備を行ったことにより、親方農家のもとで研修を受けたり9名が認定新規就農者となった。 ・集落営農組織や認定農業者の経営発展を促進する機械・設備等の導入資金を補助し、H28年度からR2年度の間に25件(40,983千円)の利用があった。 ・国県が主催する農業経営に関する研修会等を周知するとともに、認定農業者を対象とした獣害対策等の講演会等を開催(出席者数230人(累計))した。	・認定新規就農者の営農類型は野菜(露地・施設)が大半を占めており、土地利用型である水稲等を中心とする者や畜産の者が少ないことが課題となっている。 ・研修生を受け入れてくれる親方農家の軒数が横ばいであるほか、就農希望者の希望(学びたい作物等)に沿えないケースがあることが課題となっている。
戦略4：地産地消と食育の充実	(3)農と福祉との連携促進	1)福祉分野での農業の活用	・農業者のスキルアップのため、販売やマーケティング等の経営力の向上に関する研修会等の開催を支援する。また、組織力強化や所得向上を目指す集落営農組織に対しての相談・助言等に取り込む。 ・農地中間管理機構等を活用した担い手への農地の集積・集約化の促進や農業機械・施設の導入等の推進をすることで、経営の効率化を図る。	・各集落において農地中間管理機構を通じた農地の集積を促進することにより、H28年度からR2年度までの間に、約62haの農地が地域の中心経営体等に集積された。また、それに伴い、7件の集落に対して農業経営に必要な資金支援(7,688千円)を行った。 ・農福連携に関する試行的取組みとして、JA等関係機関や市内福祉事業所と連携して黒大豆枝豆の収穫作業委託等を実施した。	・農地集積の進捗は市内で一律ではなく、様々な事情により農地集積が進んでいない集落もあることが課題となっている。
戦略5：営農体制の強化と集落の維持・保全	(1)集落連携型営農体制の構築 (2)地域農業の将来像づくり (3)農業生産基盤の維持	1)集落営農の立ち上げ 2)地域農業の将来像づくり	・集落営農の組織化に向けた集落座談会の開催や組織後の運営支援を行い、地域の実情に応じた集落営農づくりに取り組む。 ・担い手や農地の出し手等を集落で話し合う人・農地プラン策定を推進する集落説明会への参加、プラン活用に向けた支援、広報を行う。 ・地域の共同活動を支援する多面的機能支払交付金・中山間地域等直接支払交付金の活動支援やため池・井堰・水路・農業施設・農道等の農業用施設の整備、また遊休農地の解消に向けた相談・指導を行う。	・各集落営農組織内の役員や作業担当者などの高齢化が進んでおり、組織内の後継者の確保・育成が課題である。 ・各集落内及び近隣に中心経営体となる認定農業者や集落営農組織が存在しない集落においては、人・農地プランの策定が停滞していることが課題である。 ・JA等関係機関と連携し、人・農地プランの策定を各集落に働きかけ、プラン策定集落数が増加(H27年度末:17集落→R2年度末:23集落)した。 ・多面的機能支払交付金活動組織は64団体に上り、三田の農村地域の多面的機能維持に努めている。R3年度には相野駅周辺土地改良事業としてほ場整備事業完了の見込みとなっている。	・近年、頻発する豪雨に備えるため防災上重要となる直下流に民家や公共施設が存在するため池の改修・廃止を確実に進める必要があるが、財政上の負担が伴うことから事業の平準化等、計画的な事業推進が課題である。

第4次三田市農業基本計画に基づく各事業について

資料4

戦略	項目	施策の方向性	取組名	事業の概要（これまでの取り組み）
1	(1)新規就農者の就農促進・定着	1)新規就農者の支援	就農希望者の窓口相談、相談会への出席	<ul style="list-style-type: none"> ・就農希望者に対して窓口相談に応じ、希望に応じて研修先の紹介や農地の情報を提供しました。 ・県主催の就農セミナーにブースを出展したり、HP等の媒体を通じて、本市で農業を始めるメリットなどの情報発信を行いました。 ・毎月1回農地相談を実施し、就農希望者へのヒアリングを通じて、適切に農業ができるようアドバイス等を行いました。 ・空家の利活用を図るため、空家情報を市HPに掲載し、利用希望者に情報を提供してマッチングを行いました。
		2)研修受け入れ農家の支援	認定新規就農者に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・認定新規就農者に対して、運転資金や、経営初期段階の農機等の導入資金を支援しました。 ・認定新規就農者の農業経営の安定・向上を図るため、市・県・JA等が連携してサポートを行いました。
	(2)農業経営者の育成	1)農業者の経営力向上	親方農家とのマッチング支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就農希望者が農業研修を受けられる親方農家とのマッチングを支援するほか、研修生を受け入れた親方農家を支援しました。
		2)農地の生産性向上	農業近代化資金等の利子補給	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営に必要となる機械・設備等の導入に関する借り入れ(農業近代化資金等)に対して利子補給を行いました。
			地域農業の担い手に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業の中心となる経営体を育成・確保するため、経営規模の拡大、経営の多角化、売上高の拡大、経営コストの縮減等に必要となる農業機械・設備の導入を支援しました。
			農村・地域農政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域農業を担う経営体の育成を目的として、三田市認定農業者連絡協議会の事務局を運営し、研修会や意見交換会を開催しました。
			農業振興団体に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・若手農業者の交流と生産者と消費者をつなぐ活動を行う三田耕楽クラブを支援しました。
		2)農地の生産性向上	農地中間管理機構を通じた農地集積の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・農地集積を促進するため、農地中間管理機構を通じた農地の出し手と借り手のマッチングを支援するとともに、農地集積に協力する地域や農地所有者等に協力を交付しました。
			三田市農地バンク	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の有効利用を図るため、市HP等で農地情報(賃借・売買)を掲載し、利用希望者とのマッチングを支援しました。
		2)農地の生産性向上	パイプハウスの導入支援	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者へ安定的に供給できる生産・流通体制を整備するため、野菜等生産農家へのパイプハウスの導入を支援しました。

戦略	項目	施策の方向性	取組名	事業の概要（これまでの取り組み）
4	(3)農と福祉との連携促進	1)福祉分野での農業の活用	農福連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携の機運を高めるため、県主催の農福連携研修会の参加を農業者へ呼びかけるほか、福祉事業所と事業者の連携事業(黒大豆枝豆の収穫作業等)を試行実施しました。
5	(1)集落連携型営農体制の構築	1)集落営農の立ち上げ・活性化	農業経営の法人化等の支援 集落営農組織等に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・法人化等に取組み集落営農組織等に対して、関係機関や専門家と連携して助言等の支援を行いました。
	2)地域農業の将来像づくり	2)地域農業の将来像づくり	実質化された人・農地プランの策定の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各集落における農業の将来像を描くための人・農地プランを策定について、関係機関と連携して各集落に働きかけました。 ・認定新規就農者や認定農業者、集落営農組織を中心経営体に位置付けた人・農地プランを作成した集落に対して助成を行いました。 ・農業委員会において、定例総会と同時に「農地利用最適化推進会議」を開催し、人・農地プランの推進に向けた関係機関等と一体となった取り組みについて検討しました。
(3)農業生産基盤の維持	1)農地維持、農業用施設等の整備		多面的機能支払交付金 中山間地域等直接支払交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・農村が有する多面的機能である国土の保全、自然環境の保全や良好な環境の形成などの機能を継続する活動を支援しました。 ・農業生産活動が不利である中山間地域において耕作放棄地の発生防止するため、継続して農業を継続する活動を支援しました。
			農業振興地域整備の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域整備計画に基づき、農業の総合的な振興を図るべき地域を保全し、土地利用の高度化と農業の近代化の促進を図りました。
			市単独土地改良	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設の改修(ため池、揚水機施設等)の改修を実施しました。
			農村総合整備	<ul style="list-style-type: none"> ・相野地区におけるほ場整備事業や用水施設整備事業を実施しました。
			遊休農地の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・農地パトロール(年2回を予定)をはじめ農地利用状況調査により遊休農地を把握しました。 ・調査結果をもとに中間管理機構等と連携して、担い手への農地の斡旋等を行うことにより、遊休農地の解消を図りました。

第5次三田市農業基本計画策定懇話会委員(分科会A)

	No.	所属等	氏名	ふりがな
学識経験者	1	神戸大学大学院農学研究科 特命准教授	清水 夏樹	しみず なつき
農業関係	2	三田市認定農業者連絡協議会 会長	中上 之仁	なかうえ ゆきひと
	3	三田市認定新規就農者	徳毛 小春	とくも こはる
	4	兵庫六甲農業協同組合 理事	乾 哲郎	いぬい てつろう
福祉関係	5	社会福祉法人光耀会 理事長	岡本 征	おかもと ただす
市民	6	市民委員	岡本 彩子	おかもと あやこ
行政	7	三田市 副市長	瀧田 士郎	はまだ しろう